



相模カラーフォーム工業株式会社

10年後の未来を見据えた 改革に挑戦

取材・文 草野 愛

1970年創業の相模カラーフォーム工業株式会社は、主にパッキン材・クッション材・吸音材・断熱材・シール材の加工・販売を行っている会社です。

取材に伺って、甲斐圭吉代表取締役と名刺交換をさせていただき、まずその名刺に興味を惹かされました。かわいらしい亀のマークが両面で描かれています。このマークには、甲斐代表の「派手なことをしないでこつこつ、確実に」という思いが込められています。

渡りに船!?

1970年代半ば、甲斐代表は

知人を頼りに上京し、加工の仕事を始めました。その取引先の中に、当社があつたのです。

2006年、約33年間勤めた前職からよいよ独立しようと準備を進めていたとき、先代の代表から当社四代目代表への就任要請がありました。

「独立するんだつたら、うちでやつたらどうか?」という話で、当社の経営を引き受けることになりました。

タイミングが良かつたとはいえ、これは単なるラッキーではありません。長年の取引の中で培った信頼が、先代の代表をその気にさせたのでしょう。

これまでの5年



扱っている製品が、かさばる性質であるがゆえ、どうしても現場の通路には原材料や仕掛品などが溜まりがち。それを進んで片付ける甲斐代表。

「整理整頓が好き」と、甲斐代表はおっしゃいます。凡帳面なイメージのA型ではあるものの、子ども

で働いています。

「勉強したことと実際の世の中は全く違います。ネクタイを締めて会社に行くことだけが仕事じゃない。」

人は向き不向きがあり、それを見極めることは容易ではありません。大学を卒業したばかりで、自分が何に向いているかを本当に把握している人は、そう多くはないでしょう。何でも実際に体験してみることを、甲斐代表は勧めます。

その中で、人と触れ合ったり、さまざまな経験を積んだりすることが、自分というものを認識するうえで大切だと考えているのです。

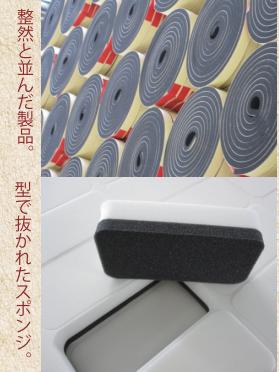
学生たちへのアドバイス

当社では、以前、第二新卒をアルバイトとして受け入れました。

彼は大学卒業後、ある会社へ営業マンとして就職しましたが、ま

るそのことを聞いた甲斐代表が、彼を採用したのです。

「営業は難しいかもしれないが、器用なので、いろいろなことができる」と、彼の印象を語ります。彼自身も、現在の仕事におもいろさを感じており、今では正社員とし



整然と並んだ製品。

型で抜かれたスパンジ。

「頑張つたら頑張つた分だけ返つてこないと、つまらないんですね」

工場の中もすっかり見違えた今

これから5年

の頃から整理整頓ができていたと
いうわけではありません。片付けに気を配るようになったのは、最初の設備会社に入つてから。先輩たちは、使つた道具をいつもきれいにして元に戻すというあたりまえのことを、あたりまえのようにやっていました。

「そういう人は、ものすごくきれいな仕事をするんです」

そこで整理整頓を仕事の基本と考えるようになりました。

現在、10年計画を実施中のこと。
とはいっても、代表に就任したのは5年前で、すでに前半戦は終了しています。この5年間で社内のある工場の整理整頓を行い、やつとおおかたのめどが立つたところ。
工場の中もすっかり見違えた今



工場内の作業風景。
従業員が黙々と作業に取り組む。

昔から、甲斐代表は利益を出すことに意欲満々。例えば、家を持つるとか車を買えるとか、そういうふうに社員が生活レベルをどんどん上げられるような会社にしたいというのが、甲斐代表の夢だそうです。

「頑張つたら頑張つた分だけ返つてこないと、つまらないんですね」

これからの5年



相模カラーフォーム工業株式会社
神奈川県相模原市中央区上溝 292-1
TEL 042-778-0288 FAX 042-778-0299
<http://www.s-foam.com/>